

ぴっぷ議会だより

7月6日/くるみ保育園うんどう会
園児たちは玉入れや紅白リレー、親子競
技などの各種目に取り組み、保護者の声
援を受けながら元気いっぱい体育館を駆
け抜けました。

- 2 審議結果「第2回定例会」
- 4 一般質問/植西 浩一 議員
- 5 一般質問/遠藤ハル子 議員
- 6 一般質問/佐藤 良彦 議員
- 7 委員会の活動
- 10 議員研修報告



第2回定例会

6月19日に開かれた令和6年第2回定例会では、町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。議案15件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4〜6ページに掲載しています。

報告

◆専決した事件の報告

地方自治法に基づき、次のとおり専決処分したことが報告されました。

- ◇跨道橋のフェンスに溜まった雪の塊が落下し、走行中の車両に衝突した事故による賠償報告
- ◇交差点の拡幅除雪作業中の事故による賠償報告

◆令和5年度比布町繰越明許費繰越計算書

地方自治法に基づき、次の事業を令和6年度に繰り越して執行することが報告されました。

- ◇一般会計（住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業、住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業、戸籍附票システム等整備事業、担い手確保・経営強化支援事業）
- ◇公共下水道事業特別会計（下水道施設整備事業）

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦

委員の任期満了に伴い、次の方の推薦について適任としました。
佐藤 五香 氏（寿町・新任）

承認

◆専決した事件の承認

簡易水道事業債及び公共下水道事業債を一般会計に振り替えて借り入れし、同額を簡易水道事業特別会計及び公共下水道事業特別会計へ繰り出すため議会の承認を求めるとのものです。
【原案可決】

契約

◆中央ふれあい広場公園整備工事（土木）請負契約の締結

中央ふれあい広場公園整備工事に伴い、請負契約を締結するものです。
【原案可決】

財産の貸付

◆財産の貸付

地域活性化を目的に旧蘭留小学校の校舎、体育館を含む施設及び土地を株式会社ヴォルフエに貸し付けるものです。

また、一部の空き教室を地域おこし協力隊が行う木製バット製作工房に活用します。

なお、株式会社ヴォルフエの事業内容は次のとおりです。

- ◇ライブエンターテインメント事業、スポーツクラブ運営事業、教育関連事業、コンサルティング事業など
- 【原案可決】

条例

◆比布町税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律等の公布に伴う条例改正です。
【原案可決】

北海道町村議会議長会表彰



本町議会議員 2 名が北海道町村議会議長会から自治功労者として表彰され、第 2 回定例会開会前の議場において佐藤康則議長から表彰状が伝達されました。

受賞者（敬称略）

勤続 25 年以上* 澁谷 興 二
勤続 15 年以上 今井 明 信

* 議長在職中は、1 ヶ月を 2 ヶ月に換算して計算されます。

令和 6 年度各会計補正予算（第 2 回定例会）

一般会計（第 2 号）

9,787万6千円の増

（総額 4 億 3,387 万 6 千円）

■農地利用効率化等支援交付金、運動公園管理事業の増ほか

国民健康保険特別会計（事業勘定・第 1 号）

70万7千円の増（総額 5 億 2,992 万 6 千円）

■前年度決算額確定に伴う繰越金の増ほか

簡易水道事業会計（第 1 号）

55万円の増（総額 3 億 1,207 万 4 千円）

■消火栓設置工事負担金の増ほか



次回の議会定例会は
9 月中旬に
開会予定です。

- ◆ 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書
- ◆ 生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書
- ◆ ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

- ◆ 比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例
国民健康保険法及び令和 6 年度税率等の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】
- ◆ 比布町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
家庭的保育事業の職員の配置基準が改善されるなど、設備及び運営に関する基準の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

- ◆ 比布町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ◆ 比布町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービ스에係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ◆ 比布町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介

- 護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ◆ 比布町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
厚生労働省令の指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部改正に伴う条例改正です。
なお、改正内容の詳細は 7 ページに掲載しています。
【原案可決】

補正予算

- ◆ 一般会計（第 2 号）
 - ◆ 国民健康保険特別会計（事業勘定・第 1 号）
 - ◆ 簡易水道事業会計（第 1 号）
- 補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。
【原案可決】

意見書を提出

次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。



綿々と続く日本古来からの 道徳を教育現場に

北川教育長

社会性や豊かな人間性を育むため 道徳教育の推進に努める



うえにし こういち 議員
植西 浩一 議員

□質問・植西議員

日本人として誇りを持つこと、正しい情報を選択できるように、なることを義務教育の外郭的な目標にすべきではないかと考えています。

子どもたちがこの国に生まれて良かったと思える教育こそ、本当に大切です。教育長はどのように道徳教育を進めようとお考えなのか伺います。

■答弁・北川教育長

現行の道徳教育を進めていくことが、「日本人としての誇りを持つこと」や「この国に生まれて良かったと思える教育」を実践できるものと考えています。

□植西議員 片方で良いことを教えても、片方で自虐史観的なことを教えることで、子どもにとって日本は悪いことをしたのではないかという印象を持ってしまいます。自虐的な歴史を教えているのではありませんか。

■北川教育長 歴史的な事実を伝え、子どもたちが学び、考えることが歴史教育であり、また道徳教育にも繋がると考えています。

歩行者に優しいまちづくりを

□植西議員 法令で歩道幅員を常に適正に保つことが明記されており、街路樹などを撤去することで歩行者の安全や快適性を保つことができます。

歩道幅員拡張の必要性も含め、歩道を適正に管理することについて、町長の考えを伺います。

■村中町長 街路樹には、良好な景観形成や環境保全などの効果がありますが、除排雪作業に支障をきたすことや交差点付近の視界が悪くなること、また、ベビーカーやシニアカーの利用者にとって、通行の支障となり得ることから、街路樹が設置されている行政区長に相談し、街路樹の撤去についてご理解をいただいたところです。

このことを含め、町議会産業建設常任委員会において街路樹の撤去について協議をしたところ、景観形成の大切さや安全確保の必要性、維持管理の効率化など、様々な議論をいただいたため、街路樹のあり方について、引き続き検討します。

現状では、歩行者などの安全に支障をきたすような問題はないと考えているため、歩道幅員の計画はありませんが、公共施設の建設

や住宅団地の造成などによる交通量の変化もふまえ、歩行者が安全・快適に通行できるよう適切な管理に努めます。

□植西議員 街路樹について、住民からのご意見やご要望を確認されていますか。

■村中町長 街路樹については、該当する区長さんにお話をさせていただき、撤去について一定のご理解をいただいたと認識しています。

□植西議員 街路樹の管理については十分だとお考えですか。

■村中町長 街路樹が折れたままになっているものや、下草の管理ができていない状況もありますので、十分に管理が行き届いているとは言えない状況です。



役場前町道



6号道路



認定こども園への移行と 子育て支援対策の充実を

村中町長

利用者の声を伺いながら 関係機関と連携し必要な対策を行う

□質問・遠藤議員

保育所型認定こども園を開設するべく、西町4丁目児童公園跡地に建設が進められていますが、町民からは期待と不安の声が届いています。次のことについて、説明が不十分なところがありますので、町長に伺います。

- ① 保育園と認定こども園の違いは。
- ② 町として開園説明会を全町対象に開催するののか。
- ③ 登降園時の車の安全対策について。

■答弁・村中町長

認定こども園は、共働き世帯の増加などに伴う待機児童の増加や少子化といった社会問題を解消するため、国による「幼保一元化」政策により2006年に創設された新たな保育施設です。

質問①は、認定こども園は3歳以上の子どもであれば保護者の就労の有無に関わらず入園することができるようになります。なお、「認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、3歳以上の保育には保育士資格とあわせて、幼稚園教諭免許の併有が望ましいとされています。

くるみ保育園においても、すでに教育との一体的な保育を行い、保育士のほぼ全員が幼稚園教諭免許も保有していることもあり、認定こども園となっても保育の内容

が大きく変わるものではありません。

質問②は、現時点では開催する予定はありませんが、認定こども園のスタートに際しては、広報紙等で周知を行っていきます。

質問③は、設計段階から町の建設課職員も関わりながら、保護者や保育現場の意見を参考に、各道路の状況や冬の除雪対応などを考慮した中で駐車場内・外の導線を含め、より安全なルートの確保等について協議・検討を行っていきます。実際に登園が始まった折には、利用者の声を伺いながら必要な対策を行っていきます。また、今後は「キッズゾーン」の設定も視野に管轄する警察署とも連携を図り、交通安全対策に努めます。

□遠藤議員 すでに旭川市や東神楽町では「キッズゾーン」が設定されています。全国でも園児の安全を守るために公安委員会と協議をして進めています。車の導線について、開園してから決定するのでは遅すぎると思います。来年の4月を待たずに実施する考えがあるのかお聞きします。

■村中町長 保育園とも協議し、開園前に保護者の方々に通ってほしいルートをお伝えすることで、安全が確保できると思います。

孤

独死・孤立死を招かない
さらなる政策を

□遠藤議員 「孤独死・孤立死」は、核家族化の進展に伴い、1970年代から使われていましたが、2000年代以降、日本社会の高齢化、地域コミュニティの崩壊、長引く不況による離職・失業者増、高齢者に対する社会保障制度の不備などが重なり、増加しているとみられています。「孤独死・孤立死」を招かないこれまでの取り組みと、さらなる政策をどのように実施していくのか町長に伺います。

■村中町長 本町の単身高齢者は、現在350人を超えており、全国同様に高齢者全体の4分の1を占める状況にあることから、地域包括支援センターを中心に、戸別訪問のほか社会福祉協議会や民生委員、民間事業者など関係機関との連携を図りながら、生活実態の把握も含めた正確な情報の集約に努めています。

単身の高齢者の方には、必要に応じ緊急通報システムを設置しており、今年度からは新たに見守り機能として自宅トイレのドア部分にセンサーを取り付け、24時間トイレの使用がなければ関係機関に連絡が入る「ライフリズム」も順次導入していく予定です。

えん どう はるこ
遠藤 議員



利用者から「選ばれる事業所」 となるための支援とは

村中町長

相互に連携できる場の確保と 地域全体の介護の質の向上を目指す



さとう よしひこ
佐藤 良彦 議員

□質問・佐藤議員

厚生労働省が「2025年問題」として多分野多職種連携を基本とした地域包括ケアシステムの再構築を示し、多くの自治体で構築が進んでいない現状に危機感をもっています。

現状、医療機関・介護施設・社会福祉協議会・行政等の実務者レベルで構成される多分野多職種連携のシステム構築の重要性が問われており、当事者等に生じる問題を地域の資源で解決し、必要に応じて新たな地域資源を開発することが住み慣れた地域で暮らし続けるために必要であるとされています。

また、社会資源の多面的活用こそがケアの実現に効果があり、介護の質の向上や介護環境の改善につながります。

近年では、地域全体で多職種連携研修会を開催し、問題解決を目指したグループワークなどを行うことで、顔の見える関係として地域ネットワークが構築されています。

そこで、次のとおり伺います。

①多職種連携の実施状況と参加組織との協力体制について、地域課題の解決に繋がっているのか。

②多職種連携は、複雑化する生活課題に対応できる体制構築に必要なが、本町の介護サービス事業所だけでは介護を必要とする当事者

等を支えきれない現状もある。

地域の高齢化に伴い、事業所の数が増える中で「選ばれる事業所」となるために町としてどのように考え支援していくのか。

■答弁・村中町長

①地域の課題や複雑化する制度に適切に対応できるよう、介護支援専門員を中心とした「地域ケア会議」を毎月1回開催しています。

また、町全体で地域の課題や情報を共有できるよう、社会福祉協議会など介護支援専門員以外の方にも積極的な参加を促しており、近年では旭川市や愛別町などの事業所からも参加希望があり、「顔の見える広域的な地域包括ケアシステム」へと深化しています。

地域ケア会議では、多職種連携の視点から、本町の医療や介護について具体的な課題が出され、情報交換やケース検討が行われており、様々なケースに対応できる専門職としての資質の向上や、地域課題の解決に非常に有効な会議となっております。

地域ケア会議以外にも、福祉・医療・介護分野の代表者で介護保険計画の策定や町全体を包括的に議論・検討する「地域包括ケア推進協議会」を設置し、行政だけでは不十分な部分について、多角的

視点から全体を見ていただくことで、広く地域づくりにも繋がっています。今後も当事者を中心に、様々な人や組織が関わりを持てる地域包括ケアシステムの推進に努めます。

②本町では、介護老人福祉施設が複数の民間事業者により運営されています。介護支援専門員は、専門員1人が担当できる人数に制限があり、町外の介護支援専門員の協力も必要不可欠な状況です。

町としては、様々な観点から介護事業所を選定していますが、民間事業所は、企業努力の差などサービス力にも差が生じている状況も伺えることから、多分野・多職種の職員に対し、相互に制度や社会資源を学ぶ機会を提供し、課題解決能力の向上と専門職の資質向上につなげていくことが重要と考えています。今後も相互連携できる場の確保に努め、地域全体の介護の質の向上を目指し、町内すべての事業所が、サービスを必要とする利用者から選ばれる事業所となるよう継続した支援に努めます。

□佐藤議員 地域包括ケアシステムの完成度を高めるために各事業者が真摯に現状を受け止め、「Common」となって取り組み、行政は引き続き強いリーダーシップをとって対応してほしいと思います。

委員会のactivities

活動

総務常任委員会

6月4日開催

「報告事項」

- 令和5年度町税等の調定及びび収納状況
- 令和5年度上川広域滞納整理機構の収納・引継状況
- その他
 - ◇ 確定申告相談・受付 253件
 - ◇ 住民登録人口（3月末現在） 3,446人
 - ◇ クリーン作戦（4月25日～5月12日実施）

「協議事項」

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇ 比布町税条例の一部を改正する条例案
- 個人住民税の定額減税等について説明を受ける。

「保健福祉課」

- ▽ 福祉係・こども未来係
- 令和5年度高齢者等の冬の生活支援事業状況等
- 令和5年度高齢者移動支援（びびたく）利用状況
- 令和5年度保育施設等入所児童数
- 令和5年度児童手当等支給状況
- 令和5年度障害者自立支援給付実績及び利用状況

▽ 保健センター（健康推進係・栄養指導係）

- 令和5年度健診等結果状況等
- ▽ 介護保険係
- 令和5年度介護保険特別会計決算見込
- 介護給付費の推移

▽ 地域包括支援センター

- 令和5年度地域包括支援センター運営実績

▽ 国保医療係

- 令和5年度国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計決算見込
- 令和6年度国民健康保険税案

「協議事項」

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇ 人権擁護委員候補者の推薦
- ◇ 中央ふれあい広場公園整備工事（土木）請負契約の締結
- ◇ 比布町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
- ◇ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
- ◇ 介護保険関係条例（4件）（改正内容）
 - ・ 管理者の要件と兼務の明確化
 - ・ 身体的拘束等の適正化の推進
 - ・ 重要事項のウェブサイト上への掲載
 - ・ 特定の記録媒体の使用規定の見直し
 - ・ 施設等の人員に関する基準表からの「指定介護療養型医療施設」の削除



ピピカツフィットネス Lite「夜ヨガ」

- ・ 業務の効率化、介護サービスの質の向上その他の生産性の向上に資する取組の促進、職員負担軽減に係る追加
- ・ 協力医療機関等との連携
- ・ 指定居宅サービス事業者等との連携によるモニタリング、テレビ電話装置等の利用
- ・ 附則 各条例の経過措置について
- ◇ 一般会計補正予算案
- ◇ 国民健康保険特別会計補正予算案

「その他」

- くるみ保育園新園舎建設並びに中央ふれあい広場再整備事業に係る進捗状況
- 町立診療所次期指定管理者選定に係る進捗状況（問い合わせ2件）
- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金



くるみ保育園新園舎上棟式

教育課

《報告事項》

■令和6年度比布町教育推進の重点

▽総務係

■令和5年度教育奨励賞表彰者

■令和6年度教育委員会機構図

▽学校教育係

■児童生徒数と学級編制数及び教職員体制

■学校薬剤師の変更

(有)ナガイ薬品 比布調剤薬局

中河 博行 氏

■教職員時間外在校等時間及び年次有給休暇等の取得状況

■部活動指導員の配置

■英会話教室の開催

■チャレンジゼミ

▽文化振興係

■令和5年度社会教育施設の使用料等

■令和5年度図書館の利用状況

■郷土資料館の改修

■放課後児童クラブの運営

■白寿大学の運営

▽スポーツ振興係

■スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況

■運動教室（幼児・前期・後期）

■ヨガ教室



運動会直前かけっこ教室

総務企画課

《報告事項》

■第2回議会定例会提出議案

■町債について（5年度決定・6年度申請）

■令和5年度比布町各会計決算見込・基金の状況

■令和5年度地方創生臨時交付金の実施状況

■企業版ふるさと納税の状況

■地域公共交通

■その他

◇職員の副業

◇選挙管理委員の補充

◇複合庁舎建設基本計画・基本設計 3月29日に告示を行い、5月24日に提案書等の提出があり、5月31日の選考委員会を経て、優先交渉権者を「株式会社 竹中工務店 北海道支店」に決定。

新庁舎の規模は、庁舎・保健センター・老人センター・福祉会館・比布消防署・その他の関係機関等で3,900㎡であり、現状より約3割縮小した建物になる予定。

◇旧新町団地跡地の活用

◇同郷会関係

・6月22日（土）東京比布会総会

・7月7日（日）札幌比布会総会

・8月1日（木）3同郷会ふるさと訪問

・9月1日（日）旭川比布同郷会総会

・11月下旬 母村散策事業（湖南市）

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇専決した事件の承認 3件

・令和5年度一般会計補正第10号

・令和5年度簡易水道事業特別会計補正第2号

・令和5年度公共下水道事業特別会計補正第2号

◇財産の貸付

旧蘭留小学校の活用について、株式会社ヴォルフエと3年間の無償貸与の契約を結ぶ。

蘭留地区振興会への説明は5月2日に実施。

◇繰越明許費繰越計算書（一般会計・公共下水道事業特別会計）

◇令和6年度各会計補正予算案

産業建設常任委員会

6月7日開催

農業委員会

《報告事項》

■令和6年度農業委員会活動計画

■令和6年度農業委員会の業務概要並びに農業概況

農林課

《報告事項》

- 農作物の作付状況
- ◇各作物の作付計画
- 町単独補助事業の実施予定
- 土地改良事業の実施予定
- 熊の目撃情報等

《協議事項》

- 第2回議定会定例会提出議案
- ◇令和6年度一般会計補正予算案

商工観光課

《報告事項》

- 商工観光課関係事業経過報告
- 令和5・6年度観光施設の利用状況
- (1)びっぶスキー場
- (2)グリーンパークびっぶ
- (3)良佳プラザ・遊湯びっぶ
- 令和6年度イベント等の実施予定
- ◇びっぶ夏まつり
- ◇2024びっぶいちご狩り
- ◇びっぶ駅マルシェ2024
- ◇びっぶ良佳村フェスティバル2024
- ◇びっぶスキー場ナイターイベント

■令和6年度地方創生臨時交付金を活用した事業

- ◇2024比布町生活応援商品券給付事業

実績 給付者数3,449人

(1,769世帯)

- ふるさと納税の状況
- 地域おこし協力隊の取組み

《協議事項》

- ◇令和6年度びっぶスキー場営業方針案

建設課

《報告事項》

- 専決した事件の報告
- 建設工事の発注及び進捗状況
- 令和5度町営住宅使用料の収納状況及び管理状況等
- 令和5年度上下水道使用料等の収納状況
- 公共下水道事業会計繰越報告

《協議事項》

- 第2回議定会定例会提出議案
- ◇専決した事件の承認
- ◇令和6年度一般会計・簡易水道事業会計補正予算案



初夏の風物詩「いちご狩り」

視察報告

総務常任委員会視察調査

子どもたちの成長を支える 学校給食を視察

総務常任委員会では、6月26日に学校給食の現状調査として比布中央学校を訪問しました。

給食を食べさせていただけるといふこともあり、給食費をお支払いして43年ぶりの給食を味わいました。率直な感想を述べさせてもらうと、「とても美味しかった」の一言に尽きます。

食後は、管理栄養士の中西先生より運営について説明を受けました。学校給食のねらいとして「成長期にある児童生徒の健全な発達のために、



学校給食「ビビンバランチ」



バランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図るとともに、正しい食事の在り方や望ましい食習慣を身に付け、好ましい人間関係を育てる」ということでした。

特にこだわっているという「地元の新鮮な食材を提供したい（地産地消）」「安心安全な国内産を食べさせたい」という熱い想いを伺いました。

総務常任委員会

副委員長

たぐち 谷口 雅浩
ましまひろ

市町村議会議員特別セミナー 「地方再生」により 持続的な自治体経営を目指す

4月22日から23日の2日間にわたり千葉県で開催された市町村議会議員特別セミナーに参加してきました。

本セミナーは市町村議会議員を対象として年3回開催され、市町村の行財政をめぐる重要課題や議会を取り巻く課題と対応の方向、社会構造の変化を見据えての国の政治・経済の動向等について、各分野で活躍されている講師による講演が行われます。

参加をした第1回目のセミナーでは「地方再生について」「議会のデジタル化について」「気象について」「防災について」をテーマとした4つの講演を聴いてきました。

それぞれの自治体が真剣に取り組まなくてはならないことでしたが、やはり比布町の近々の課題は「地方再生」です。

講師は、千葉県にある旧校舎の再生事業について説明の後、「使わなくなった建物を活用すれば再生資源となり、そのためには儲けることを考えなくてはならない」こ

とを強調されていました。

さらに「儲けられない自治体は福祉が枯渇していくだけ」との言葉があり、持続的な自治体経営を考える良い切っ掛けとなると確信しました。

(植西 浩一)
うえにし こういち

市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)は、全国市長会、全国市議会議員会、全国町村会及び全国町村議会議員会の4団体が設立した公益財団法人全国市町村研修財団が運営しています。



第52回議員の学校 住民生活を守るための 市町村の役割を学ぶ

5月8、9日に都立多摩図書館セミナールームで開催された多摩住民自治研究所主催の「第52回議員の学校」に参加しました。

全国からの現地参加とオンライン参加で行われ、「地域経済と地域産業・地域と住民生活を守るための地域産業循環・市町村の役割」をテーマに学んできました。

講義1「日本の食と農をどう守るか」鈴木 宜弘氏(東京大学大学院教授)の講演では、日本の農家の平均年齢は68.4歳。あと10年したら日本の農業・農家は崩壊の危機となる。食の安全保障の重要性について、現状は相当に危機的な状況である。「食」と、地域の暮らしに深く結びついた「農」をどう守るか、自治体などによる様々な取り組みについても取り上げていました。

その他に、講義2「生活保護制度をつかいやすいものに」石川 満氏(元日本福祉大学教授・多摩住民自治研究所理事)

講義3「地域社会における中小

企業の役割と中小企業振興条例」八幡一秀氏(中央大学名誉教授・多摩住民自治研究所理事)

実践報告と提言「令和6年能登半島地震後の現状と課題」堂前利昭氏(石川県議会議員)より、それぞれ講演がありました。

盛りだくさんのテーマで学ぶことができ、知識が広がったように思います。

(遠藤ハル子)
えんどう はるこ



人口減少地域における豊かな人間関係の重要性

7月2日に札幌コンベンションセンターにて令和6年度北海道町村議会議員研修会が開催され、全議員で参加しました。

初めに、「札幌が東京より暑くなる!? 加速する気候変動」と題して気象予報士の森 朗 氏より講演を受けました。

データにより東京都と札幌市の最高気温や熱帯夜・真夏日の日数を比較・解析し、その影響による農作物や魚の漁獲高の変化を捉えた内容でした。



▲講師：大島 理森 氏



▲講師：森 朗 氏



次に「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めたの所感」と題して元衆議院議長の大島 理森 氏より講演を受けましたが、話のインパクトと声の強弱に引き寄せられました。

特に、ソーシャルキャピタル（人々の信頼関係や結びつき）の重要性について、人間的暖かさや生きる満足度を得る場所こそが町村であり、一つひとつの自治体が特性を活かして自立していくことが大切であると自覚できた内容でした。

（佐藤 良彦）



教えて！議会のぎもん

Q 議長・副議長の役割は？

A 議長・副議長は議員の中から選ばれます。議長は議会を代表し、議場の秩序を守り、会議が円滑に運営されるよう進行などを行います。副議長は、議長を助け、議長が欠けたときや事故（不在等）がある場合に議長の代わりを務めます。

Q 議会事務局って何をしているの？

A 地方公共団体の議決機関である議会の機能を十分に果たせるよう、主に議会運営や委員会活動などのサポートを行います。

第2回定例会 議会傍聴の感想



■一般質問で高齢者福祉に関する問答が2件ありました。今後のまちづくりの課題として大きくなると思います。質問にもあったように「ワンチーム比布福祉」の柱として町行政に力を発揮してほしいと思いました。

■議案、報告にあった上下水道事業に関わる会計の大枠はわからないが、町民としては水道料が値上がりしないことを望みます。

■「刑事訴訟法」の改正を求める意見書で三権分立に関する討論があったが、司法の決定に関して行政が介入するのは憲法違反だが、法の改正を求めるのは、行政・立法の役目ではないでしょうか。3つの権力が互いに監視しあって国民の基本的な人権を守るのが三権分立の根本概念であると思います。

〈傍聴いただきありがとうございました。〉

議会のうごき

6月

- 1日 中央学校運動会 前期課程
(グラウンド、各議員)
- 4日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 11日 北海道町村議会議長会定期総会及び議長・
事務局長研修会 (札幌市、議長)
- 14日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
大雪消防組合議会臨時会(美瑛町、組合議員)
- 17日 米麦改良協会役員会(農協、議長・産建委員長)
- 19日 第2回議会定例会 (役場、全議員)
議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 22日 東京比布会総会(～23日) (東京都、議長)
- 24日 観光協会通常総会 (商工会館、議長)
- 25日 地域農業再生協議会総会
(農協、正副議長・産建委員長)
- 26日 総務常任委員会行政視察(学校給食)
(比布中央学校、議長・委員)

- 27日 上川町村議会議長会役員会(～28日)
(愛別町、議長)
- 29日 陸上自衛隊旭川地方協力本部創立18周年祝
賀会 (旭川市、議長)

7月

- 2日 北海道町村議会議員研修会(札幌市、全議員)
- 3日 議会改革特別委員会 (役場、議長・委員)
消防団夏期演習 (町内、各議員)
- 5日 第10回大雪分会消防訓練大会(愛別町、議長)
- 6日 くるみ保育園うんどう会 (町体育館、議長)
- 7日 札幌比布会総会 (札幌市、各議員)
- 12日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 24日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)



議会広報特別委員会

- 委員長 植西浩一
- 副委員長 佐藤良彦
- 委員 遠藤ハル子
- 大熊勝幸
- 谷口雅浩

編集後記



つつがなく行われていく行政の評価を下すのが比布町民の代表である我々町議会議員である。その一つひとつの動きを伝えるのが、この議会広報の役割だと考えている。

先日、議会改革特別委員会が開催され、傍聴者を増やすための施策として、住民との意見交換会をどのように進めるかが話し合われた。

改革とは、これまでのやり方を見直して、より良いものとする事だ。広島県の中堅都市で市長として改革を進められていた方が、東京都の改

革を目指して東京都知事に立直し、その志を伝え多くの都民に賛同を得られたものの当選するとはなかった。

そして、その中堅都市の首長は改革前のさやに収まり、早速居眠り議員が写真に収められていた。

改革の効果とは、場合によっては、短命で何の役にも立たないこともある。

しかし、その住民の行動いかに改革が進むのである。また、改革が必要か否かは、住民の意思の表れである。

(植西 浩一)